



「何も見てないよ」

言い返したセレナはノートを閉じ、胸の前に抱えた。

「いい物はみんなに共有しよう！見せて！」
興味をひかれたエリカは無理やりセレナに迫った。

「だめ！これは私のものよ」

セレナは初めて他人の言うことを聞かなかった。

「うわー、何か秘密を隠そうとした？」

ノートを奪^{うば}われそうになったセレナは、友情を守るかのように、必死にノートを持ち放さなかった。